

事後内部評価シート

調査研究課題名	中小鉄道事業者が導入しやすい簡易型ＩＣカードシステムに関する調査
担当者	主任研究官 川上洋二、研究官 千葉豪
当初目標と目標達成度	<p>本調査は、中小鉄道事業者の中でも大・中都市郊外に路線を持ち、都市鉄道とラッチレス（改札なし）で接続している、相互乗り入れを行っている、また、無人駅が多く車内改札であるといった環境条件を抱え、ＩＣカードの導入を進める場合に、運用上の課題や問題点も他の事業者に比べて多くかつ複雑であることが予想される事業者において、導入しやすいＩＣカード機器として、簡易型のＩＣカード機器の有効性を評価するとともに、導入時を想定した運用の流れを確認し、導入にあたっての課題・改善すべき点を明らかにすることを目的に実証実験を行い、その評価を行ったものである。</p> <p>平成 17 年 1 月 29 日から 31 日までの 3 日間に渡り実証実験を行い、実験参加者へのヒアリング調査及び運用時間の計測を行い、評価・考察を行った結果、簡易型ＩＣカード機器の有効性を確認し、導入にあたっての課題・改善点を抽出したことで当初の目標は達成された。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>実際の交通機関で実証実験を行い、現役で現場で業務を行っている乗務員や駅係員にヒアリング調査などを実施したことにより、導入にあたっての課題・改善点などについて幅広く考察することができた。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査に際しては、各方面の知見を集めて取り組む必要があることから、学識経験者、システム事業者、省内関係者の協力を得て、産学官の有識者から成る「次世代マルチモーダル ITS 研究会」において、十分に議論しながら調査を進めた。</p>
成果と活用（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ PRI Review 12 号（2004 年春号）に概要、16 号（2005 年春号）に結果を掲載した。 ・ ITS 世界会議におけるテクニカルツアーのショーケースの 1 つとしてデモンストレーションを実施した。 ・ 省内関係者、行政機関などに対し、資料提供を行った。
その他	